

黒澤明

DVDコレクション

27



醜聞

スキャンダル



俳優

辰巳琢郎

映画の魅力に取り憑かれた中学時代に、モノクロの8ミリフィルムで短編映画を撮影したという辰巳琢郎。その後、俳優の道に進んだ彼は、かつて黒澤組の一員だった事務所の社長から話を聞くなどして、黒澤映画により深く接することとなる。そんな辰巳が強く興味を持ったのは、戦中・戦後に作られた初期作品であった――

人間の生き方をしっかりと描いた黒澤映画の妻さ

初めてご覧になった黒澤映画を教えてください。

僕は1958（昭和33）年生まれなんです。が、物心ついた時には、もう何本かの黒澤映画を観ていたという感じで、はっきりしないんです。親がテレビで観ているのを横で眺めていたとか。中学生になってから映画ばかり観るようになって、その頃は洋画がほとんどでしたけど、日本映画では黒澤監督の作品を観ていました。印象に残った作品というと、『七人の侍』（1954）、『用心棒』（1961）、『天国と地獄』（1963）でしたね。ただ、黒澤明という存在はすでに伝説になっていましたから、絶対に手が届かないところにいる人という感じでした。

高校に入ってから芝居をやるようになって、大学を卒業する少し前に、NHKの朝の連続ドラマのオーディションを受けたんです。その時、アマチュア劇団では受けられないということで事務所に入

